

Absolute5

アブソリュートファイブ

第五地連 事務局：墨田支部

発行責任者：齊藤幸司

墨田区東向島 5-9-11

TEL&FAX 3610-0397

e-mail seisousumida@juno.ocn.ne.jp

定年延長は十分な賃金水準の確保が前提

21賃金確定闘争は中盤に差し掛かろうとしています。第五地連は11月1日、ブロック幹事である足立区長に対し要請行動を実施、平行的に天空劇場で総決起集会を開催しました。感染対策のため参加者数を制限することとしましたが、最終局面にむけてあらためて闘う意思統一ができました。

集会は、齊藤事務局長（墨田）の司会で進行了ました。冒頭、主催者を代表して齊藤副議長（足立）より「地連・支部



▲要求実現にむけて地連・支部から本部交渉を後押ししよう

から怒りの声をあげることが重要だ」とあいさつし、来賓の退職者会押田幹事より「退職者会も気持ちちはひとつ、これからも一緒に闘い続ける」と激励の言葉をいただきました。

本部より渡辺書記次長にお越しいただき、この間の情勢報告とこれから

の闘いについて分かりやすく丁寧にお話いただきました。

次に、3名から決意表明を受けました。最初に開催区である



▲坂部副委員長、星野議長と各支部代表による要請団

ここで要請を終えた要請団が区役所から駆け付けました。足立区担当青木中執から要請団

コロナ禍で奮闘する職員の気持ちに込める

万崎副議長（江戸川）か

より「職場でぜひ青年層に声をかけてほしい。いつか大きな団結を生み、組織強化につながる」と若者の立場から切実な訴えを行いました。

シユプレヒコールを引き続き青年部山口副部長から

発声しました。感染対策のため参加者は声をあげず、こぶしを突き上げて応えるかたちをとりました。

闘いは中盤に差し掛かっています。賃金水準や現業系人事制度はもろろん、今後の働き方や人生設計に大きく関わる定年延長について納得のいく回答を引き出すため、全組合員の総力を結集して最後の最後まで闘い抜きましょう。

（事務局長 齊藤）